

ハンググライディングシリーズ規則

I-1. 【FAI Sporting Code】

1. ハンググライディングシリーズの競技規則は、FAI Sporting Code の General Section と Section7 を前提として設定されている。参加選手はその双方を良く理解した上で大会に参加すること。

I-2. 【ハンググライディングシリーズ年度】

1. 年度は1月1日に始まり、12月31日に終了する。（大会成績の公式発表される日付で管理される）

~~I-3. 【ランキング】~~

- ~~1. ハンググライディングシリーズランキングは、ハンググライディングシリーズの順位を決めるものとする。~~
- ~~2. 世界選手権選抜ランキングは、次回世界選手権の出場選手を選抜するためのものとする。~~

I-4. 【対象大会】

1. FAI カテゴリー1 および FAI カテゴリー2 の大会が CIVL ランキングの対象となる。国内大会において FAI カテゴリー2 の承認を受けるためには、ハンググライディングシリーズの大会であることを要する。

—Class1

- ~~1. JHF が公認したハンググライディングシリーズの大会のみが対象となる。~~
1. JHF が公認したハンググライディングシリーズの大会のみを対象とする。

—Class5

1. CIVL ランキングの対象大会を対象とする。ハンググライディングシリーズランキングにおいては、CIVL ランキング対象大会をすべて対象とする。

I-5. 【ハンググライディングシリーズ登録】

1. ハンググライディングシリーズの大会にエントリーした時点で、自動的にハンググライディングシリーズに登録されるものとする。
- ~~2.~~

I-6. 【ハンググライディングシリーズランキング】

—Class1

1. ハンググライディングシリーズ対象大会中のフライト得点からシリーズポイントを計算し、計上本数分だけ加算してランキングを決定する。
シリーズポイントは、フライト得点に参加人数の係数を加味したものとする。

シリーズポイント = フライト得点 × 参加人数係数

フライト得点は「ハンググライディングシリーズ競技規則」の「得点計算」に基づいて計算される、デイリーの得点

参加人数係数 = $1.0 - 0.01 \times (35 - \text{競技参加人数})$

ただし、参加人数係数の最大値は 1.0 とする

2. 合計得点の高い者から順位をつける。
3. 合計得点の同じ者は、係数を加味する前の得点の合計が多い者を上位とする。
4. 計上できるフライト要件はフライト成立要件に準ずる。
5. 年間を通して、計上本数は以下の通りとする。

DQ0.5 が 16 本以上	6 本計上
13～15 本	5 本計上
10～12 本	4 本計上
7～9 本	3 本計上
4～6 本	2 本計上
1～3 本	1 本計上

—Class5

1. 毎月1日の CIVL ランキングから日本人選手のみを抽出してランキングをつける。年間ランキングは12月31日の CIVL ランキングから日本人選手のみを抽出してランキングをつける。